

“人間一家畜一環境をめぐるマイクロ連環系の科学”の構築 ～青海チベットにおける
牧畜語彙収集からのアプローチ

平成 27 年度第 3 回研究会報告

日時：平成 28 年 3 月 26 日（土曜日）（13 時より 19 時）

27 日（日曜日）（9 時より 15 時）

場所：AA 研 302 号室

報告者名：星泉（AA 研）

参加者（6 名）：海老原志穂，津曲真一，平田昌弘，別所裕介，星泉（以上，本課題メンバー），山口哲由（研究協力者）

3 月 26 日（土）

・ 研究会 13:00 – 19:00

- 忘却されていく牧畜語彙 2（海老原志穂）
- 家畜と宗教儀礼の変遷 2（津曲真一）
- 牧畜技術の変遷：放牧地私有化の前後の比較 2（山口哲由）
- 中国青海省におけるアムド系牧畜民の乳加工体系の柔軟性 2 平田昌弘
- おいしくて健康なバターを追求して：ある牧畜民の発明 2（星泉）
- ツアルのリフォーム：チベットの伝統的な衣装と現代におけるイノベーション（別所裕介）

3 月 27 日（日）

・ 研究会 9:00 – 15:00

- チベット牧畜辞典の編集作業について（全員）

<研究会実施報告>

かねてより申請していた国際チベット学会（2016 年 6 月，ノルウェーにて開催）でのチベット牧畜に関するパネルセッション案が採択され，各自の発表案も採択されたので，1 日目はまず，それぞれの発表についてより詳細な発表を行い，議論を深めた。他に，代表者の星と共同研究員の海老原、別所が 2016 年 2 月に実施した現地調査（共同研究員のナムタルジャは現地コーディネーターを担当）の報告を行った。さらに，別所研究協力者の山口が共同編集用データベースの各語彙項目のカテゴリーの見直しを行った結果を報告し，さらに修正の検討を行った。

2 日目には，『チベット牧畜語彙辞典』の編集会議を行い，辞書の配列方法と構成を決定した。2016 年度中に評価版を印刷・出版することについても合意し，完成に向けてのスケジュールや担当範囲などを確認した。

また，現地のチベット人映画監督のカシャムジャ氏との協働で現地調査時に撮影し

た、牧畜民の一日を記録したビデオクリップの編集が完了したので、全員で見ながら修正点などを検討した。ビデオクリップは搾乳や乳加工、料理、糞加工、放牧、宗教儀礼などを詳細に記録したものであり、当初の計画では『チベット牧畜語彙辞典』の付録 DVD に収録する予定であったが、現地コンサルタントとの協議の結果、インターネットに出回ることを極力避けるために DVD には収録せず、上映会等の形で公開していくことに決定した。

この他、来年度が最終年度にあたることから、『チベット牧畜語彙辞典』評価版の刊行以外に、公開ワークショップの企画や国内学会での発表計画、展示の実施企画などについて具体的に議論を行った。